



令和6年2月22日
国土交通省関東地方整備局
宇都宮国道事務所

実施能力評価拡大型による構造物点検の業務発注を試行します

宇都宮国道事務所において、構造物点検の業務発注を行います。

本業務では、関東地方整備局発注業務の受注実績が無い企業の参入機会の確保を目的として、総合評価落札方式（簡易型1:1）実施能力評価拡大型を試行します。

「R6宇都宮国道管内道路附属物及び防災点検業務」において、関東地方整備局発注業務の受注実績が無い企業の参入機会の確保を目的として、企業・技術者の実績評価を緩和し、技術的課題を評価する評価方法を試行します。

「実施能力を評価した選定（実施能力評価拡大型）」

総合評価落札方式（簡易型1:1）で発注する業務のうち、関東地方整備局発注業務の受注実績が無いことにより参入が困難であった新規参入者の参入を促し、次回の業務参入にあたっての実績として活用してもらうことにより、継続的な業務の担い手企業の裾野を広げることを期待し、新規参入者の増加を図るものです。

<発表記者クラブ>

竹芝記者クラブ 神奈川建設記者会 栃木県政記者クラブ 茨城県政記者クラブ

<問い合わせ先>

関東地方整備局 宇都宮国道事務所

電話：028-638-2181（代表） F A X：028-638-2871

副所長 森 芳徳（もり よしのり）（内線：205）

管理第二課長 西村 篤史（にしむら あつし）（内線：441）

《業務概要》

○業 務 名：R 6 宇都宮国道管内道路附属物及び防災点検業務

○履 行 場 所：宇都宮国道事務所管内

○履 行 期 間：令和 6 年 5 月（下旬）から令和 7 年 3 月 3 1 日

○発 注 方 式：総合評価落札方式（簡易型 1：1）
実施能力を評価した選定（実施能力評価拡大型）

○業 務 種 別：土木関係建設コンサルタント業務

○業 務 内 容：本業務は、道路利用者及び第三者被害を防止する観点から、各点検要領に基づき道路附属物（標識、照明灯、情報板）点検、防災カルテ対象箇所の点検及び舗装点検を行うものである。

道路附属物点検

1. 標識 5 8 基

2. 照明灯 2 0 基

3. 情報板 2 基

防災カルテ点検 4 9 箇所

舗装点検 4 1. 7 k m

《スケジュール》

○公示日：令和 6 年 2 月 2 2 日（木）

○参加表明書・技術提案書の提出期限：令和 6 年 3 月 8 日（金）

○指名通知：令和 6 年 3 月 2 8 日（木）

○入札：令和 6 年 4 月 2 5 日（木）

1-①継続実施能力を評価した選定(実施能力評価拡大型)(試行)

【趣旨】関東地方整備局発注業務の受注実績が無い企業の参入機会の確保及び不調対策を目的として、**企業・技術者の実績評価を緩和し技術的課題を評価**する評価方法の試行

【対象】総合評価落札方式(簡易型1:1)で発注する業務のうち、発注方式選定表青部記載の業務の種類において、本試行を**選択することができる。**

【概要】関東地方整備局発注業務の受注実績が無いことにより参入が困難であった**新規参入者の参入**を促し、次回の業務参入にあたっての実績として活用してもらうことにより、**継続的な業務の担い手企業**の裾野を広げることを期待し、**新規参入者の増加による不調対策**を図る【R4.8~】

業務対象

○実施能力評価拡大型の試行対象

土木コン、測量、地質の3業種における総合評価(簡易型1:1)のうち、右表に記載されている業務の種類において下記事項を参考に選択する。

- ・不調・不落が多い業務
- ・地域の担い手確保が必要な業務

発注方式選定表



事業名	業務の種類
道路事業	道路詳細設計(修正)②【一般】
	交差点設計(一般)
	環境調査③【常観等定型的調査】
	交通量観測
	各種資料作成他(一般的な水文調査含む)
河川事業	堤防・護岸設計③【現地条件変更による修正設計、小構造物設計図集に掲載の構造物の数量、図面作成】
	耐震性能照査③【簡易式による判定を行う業務】
	河川台帳作成
	水文観測③【標準的な観測手法によるもの】
	施設点検調査②【標準的な調査】
測量調査	水質観測②【水質調査(採水・水質分析のみ)(プランクトン同定を除く)】
	各種台帳作成②【地形測量を主とするもの】
	復旧測量※
	路線測量※
	水文観測③【標準的な観測手法によるもの】
	基準点測量※
	河川測量※
	現地測量(地形測量)※
	用地測量※
	水準測量※
	地籍測量②【国土調査法第10条2項による作業を除く】
	定期縦横断測量※
	地図編集
	深浅測量②【標準的なもの】
	既成図数値化
地質調査	一筆調査(E工程)
	※印の工種は、三次元点群測量を含む。
	ボーリング調査(支持層確認、改良チェック等)
	地下水調査(観測)
	計器設置及び観測作業(設置・観測のみ)
	地盤環境調査(採取、分析)

実施能力評価拡大型へ
選択可能な業務の種類

1-①継続実施能力を評価した選定(実施能力評価拡大型)(試行)

- 評価基準は、現行の総合評価(簡易型)(実施能力評価)を基に、**評価項目「成績・表彰」を省略**
- 業務経験、地域性・地理的条件の評価項目を**優位に評価し、ウェイトを上方修正**
- 参加表明書と技術提案書を**同時に提出する方式**とし、**入札手続き期間の(約20日)短縮と資料作成の省力化**を図る

評価方法イメージ

○現行:総合評価落札方式(簡易型1:1)における参加資格要件の評価

総合評価落札方式(簡易型1:1)

評価項目	詳細項目	評価点
入札参加者を指名するための基準	企業の評価	資格要件
		業務経験
		地理的条件
		地域貢献度
		業務成績評価
	成績・表彰	優良業務表彰の経験
技術者の評価	資格・実績	資格要件
		継続教育取組実績
		業務経験
		若手技術者
		業務成績評価
	成績・表彰	優良業務表彰等の経験

技術点を算出するための基準	技術者の評価	資格・実績	資格要件	50%
			継続教育取組実績	
			業務経験	
			若手技術者	
		成績・表彰	業務成績評価	
	優良業務表彰等の経験			
	実施方針・実施フロー・工程計画・その他			50%

○実施能力評価拡大型(試行):

参加表明書、技術提案書の提出を**同時提出**とする。

企業・技術者の実績評価を緩和(成績・表彰の評価を省略)

実施方針・実施フロー・工程計画・その他の項目については、

「工程計画・技術的課題」と変更し、資料作成の省力化を図る。

評価項目	詳細項目	評価点
技術点を算出するための基準	企業の評価	資格要件
		業務経験
		地理的条件
		地域貢献度
	管理(主任)技術者の評価	資格要件
		継続教育取組実績
		業務経験
	若手技術者	
	工程計画・技術的課題	

①本店しぼり
②本店、支店又は営業所しぼり
(本店の場合、評価する配点ウェイトが高くなる)

評価を省略

成績・表彰	業務成績評価
	優良業務表彰等の経験
成績・表彰	業務成績評価
	優良業務表彰等の経験

資料作成の省力化

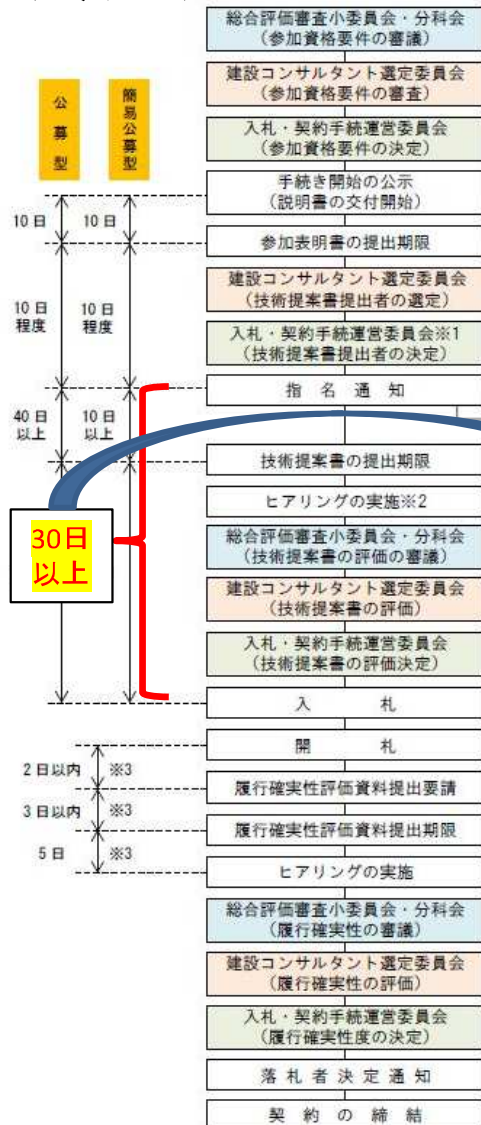
実施方針・実施フローを省略し、
技術的課題を追加

1-①継続実施能力を評価した選定(実施能力評価拡大型)(試行)

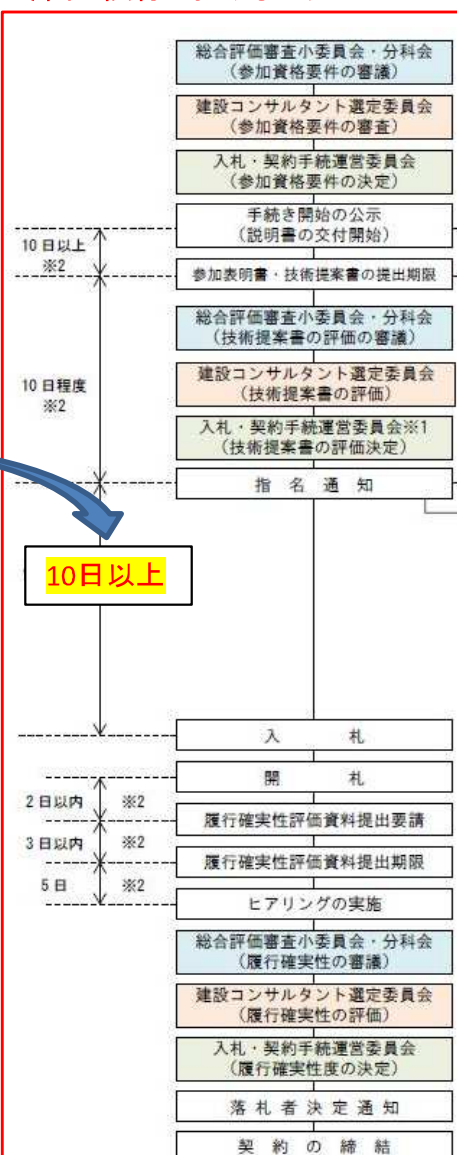
○事務手続きの軽減(スケジュールの短縮と作成資料の省力化)

参加表明書・技術提案書の同時提出で指名通知から入札まで**約20日の入札手続期間の短縮**を図る
技術提案書の記載内容については、**5項目から2項目まで省略し参加者の作成資料の省力化**を図る

総合評価落札方式(簡易型1:1)
のスケジュール



今回の試行におけるスケジュール



総合評価落札方式(簡易型1:1)技術提案書記載内容

(様式-8)

■業務の実施方針書【課題】

①

■着目理由

②

■対応方針

③

■実施フロー

④

今回の試行における技術提案書記載内容

■工程計画

検討項目	業務工程				
	月	月	月	月	月

⑤

■実施計画書

検討項目	業務工程						備考
	月	月	月	月	月	月	

①

注1: 業務の課題、着目理由、対応方針、実施フロー、工程計画について。
 注2: 工程計画は、入札説明書に記載の予定履行期間内で記載すること。
 注3: 文字サイズは、10ポイント以上とすること。(概念図、出典の図表を除く)
 注4: 入札説明書(欄外)3、4に示した内容以外の事項を記載し(課題、着目理由、対応方針、実施フロー、工程計画)以外を記載すること。
 注5: 以下の場合には実施計画書を無効とする。
 ・件名が異なる。
 ・2項目のいずれかもしくは両方の記載が無い。
 ・A4 5枚1枚を超える記載である。
 ・記載内容が仕様と異なる(他の業務と見受けられる)。
 ・明らかに法令違反となる記載である。
 ・未提出である。
 注6: 作成にあたっては、本欄に記載入又は独自に作成しても構わないが、記載及び注意事項は遵守すること。なお、本欄に記載する場合、注1～6を消去して良い。

工程計画・技術的課題
を作成